

2021年度通常公募 団体情報シート				
団体名	公益財団法人パブリックリソース財団		団体web サイトURL	http://www.public.or.jp
主 題	申請事業名		申請受付番号	220132
	様々な困難で困窮する女性の経済的自立支援		申請事業の分類①	①草の根活動支援事業
	困窮女性の経済的自立を目指す生活支援から就労までの包括支援		申請事業の分類②	①-1 全国ブロック
副 題	困窮女性の経済的自立を目指す生活支援から就労までの包括支援		申請事業の分類③	
優先すべき社会の諸課題選択科目				
領域①	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	領域②		
分野①	⑥ 女性の経済的自立への支援	分野②		
	-			
領域③		領域④		
分野③	0	分野④		
	-			
	-			
申請事業概要				
<p>本事業は、困難な状態にある女性に対し、個々の支援ニーズに応じて緊急期支援から居住生活基盤整備、就労まで、切れ目のない支援により経済的自立を図る包括的支援モデル事業の構築を目指す。他地域での再現性・模倣可能性の高いものを目指し、地域の様々な機関、自治体との連携・協働を重視する。</p> <p>最終受益者は、虐待やDV等により術がないままに自活を強いられる若年女性、生活困窮のシングルマザー、不安定雇用下の低収入で困窮する単身女性等。</p> <p>実行団体は、シェルター事業、DV被害等の女性支援、就労支援等で実績があり、法人格をもつ全国の団体。</p> <p>対象事業の例として、緊急生活支援（生活物資配布や居住施設の整備）、個別アセスメントに基づく各種支援、Cash for work など先駆的な就労訓練や就労支援、また担い手となる女性支援の専門人材育成など。</p> <p>資金分配団体は、資金的な支援だけではなく、持続的な事業運営が可能となるよう、外部の専門家とともに資金調達や評価活動などを伴走支援し組織基盤強化も行う。</p> <p>助成対象件数は全国で6件程度、3年間で、事業規模や事業内容によって、1団体あたり1000～6000万円程度（平均4500万円）を想定。</p>				

団体組織情報			
1	●設立・法人取得年月日		
	設立年月日		2013/03/06
	法人格取得年月日		2013/01/17
2	●団体概要		
	団体概要		寄付者の志を聴くことを原点到 寄付金を活用した基金による助成事業を実施。資金提供だけでなく 組織診断 各種コンサルティング等の伴走支援を併行して実施し インパクトの最大化を目指している。また成果評価にもSROIなどの手法で取り組み 寄付の効果を可視化することを目指している。2021年度は 市民等からの寄付447,685,044円 22基金を運営 助成総額539,388,055円 対象数486団体。
3	●代表者情報		
	代表者名		久住 剛
	代表者の役職		理事長
	代表者名 2		岸本 幸子
4	●役員		
	役員の数		21人
	(その内) 監事/監査役・会計参与の人数		2人
	置いている監事のうち公認会計士または税理士の人数		0人
5	●事務局職員		
	職員・従業員合計		18人
	以下、職員・従業員の内訳		
	常勤・有給・有期		2人
	常勤・有給・無期		9人
	常勤・無給(有期・無期)		0人
	非常勤・有給・有期		7人
非常勤・有給・無期		0人	
非常勤・無給(有期・無期)		0人	
6	●資金管理体制		
	決済責任者、経理担当者、通帳管理者のうち、決済責任者と通帳管理者が異なること		同じ
7	●区分経理・帳簿		
	1.必要な会計帳簿が備えられている		はい
	2.業務別に区分経理ができる体制である		はい
8	●監査		
	年間決算の監査を行っているか		①監事を実施

助成実績		
1	前年度の助成件数 (件)	485団体
2	前年度の助成総額 (円)	539,388,055円
助成事業の実績内容		
3	<p>1. 女性支援</p> <p>①女性支援のための「あい基金」は、東北被災地で女性の就業の場づくりを行う団体に助成。助成団体を定期的に訪問し伴走支援を実施。2016年～2019年の実績は助成総額4,300,000円、延べ7団体。</p> <p>②「女性リーダー支援基金」は、意思決定過程への女性の参画拡充を通じ、社会的地位の向上を図る基金。2019年度に受けた寄付金 40,000,000 円を基に、1年間に5名、3年間で計15名の女性リーダーに、1人あたり100万円の活動奨励金を支給。</p> <p>③「Champion of Change」は、地域社会の課題解決等に取り組んできた女性リーダーを表彰する制度で、その事務局を担った。2020年度までに、4回の表彰で28名の女性リーダーを支援した。</p> <p>④オンライン寄付サイトGiveOneに女性支援団体8団体が登録されており、これらの登録団体が実施している女性支援プロジェクトに当該サイトを通じて、これまでの2000万円以上の資金支援を実施。</p> <p>2. 支援付き住宅整備事業</p> <p>休眠預金事業の通常枠とコロナ枠の2事業で、住宅困窮者に対する支援付き住宅の提供に関する助成を実施。支援人材の育成を含め、困窮者ひとりひとりのニーズに即した生活支援、就労支援を実施する寄り添い型の住宅の建設を進めている。</p> <p>3. NPO等の組織基盤強化</p> <p>NPOの組織診断及び組織基盤強化に関しては、既存の基金における助成プログラム及び休眠預金事業の通常枠「子ども支援団体の組織基盤強化事業」においても助成事業及び伴走支援等の実績がある。</p> <p>4. 就労支援</p> <p>「働く力応援基金」では、様々な理由で働くことに困難を抱える人を働きがいのある就労につなげることを目的とし、先駆的な就労支援事業に取り組むNPO等に助成を実施。2020年に受けた1億5000万円の寄付金をもとに、2021年度から3年間の継続助成を実施。</p>	